

## 冥王星の赤道半径を年度ごとに調べてみよう。

りとにゅーす No.54 にて「理科年表プレミアムを使ってみよう！」の記事で

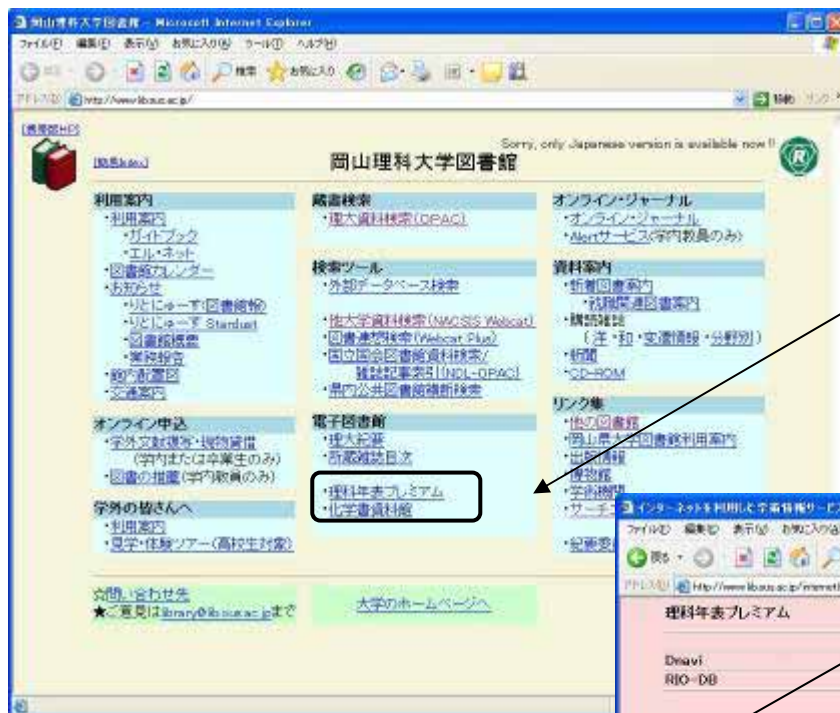
- Q. 近頃、冥王星が惑星かどうかという論争になった要因の一つに、観測技術の発展により、冥王星の大きさが発見当時予想されていたものよりも、かなり小さいことが分かったことがあげられますが、冥王星の大きさのデータはどのように変化していったのでしょうか。調べてみましょう。

(単位: k m)

理科年表の年	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2006年
赤道半径 (冥王星)						
赤道半径 (地球)	6 3 7 8	6 3 7 8	6 3 7 8	6 3 7 8	6 3 7 8	6 3 7 8

という問題を出しました。

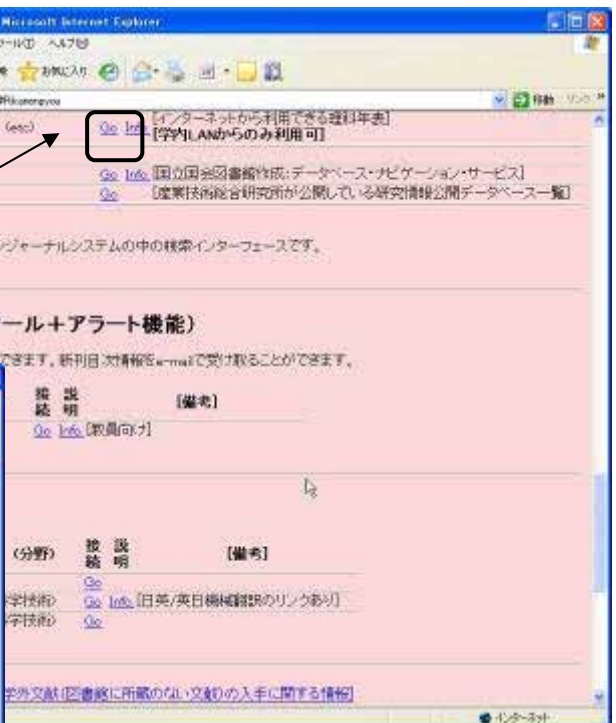
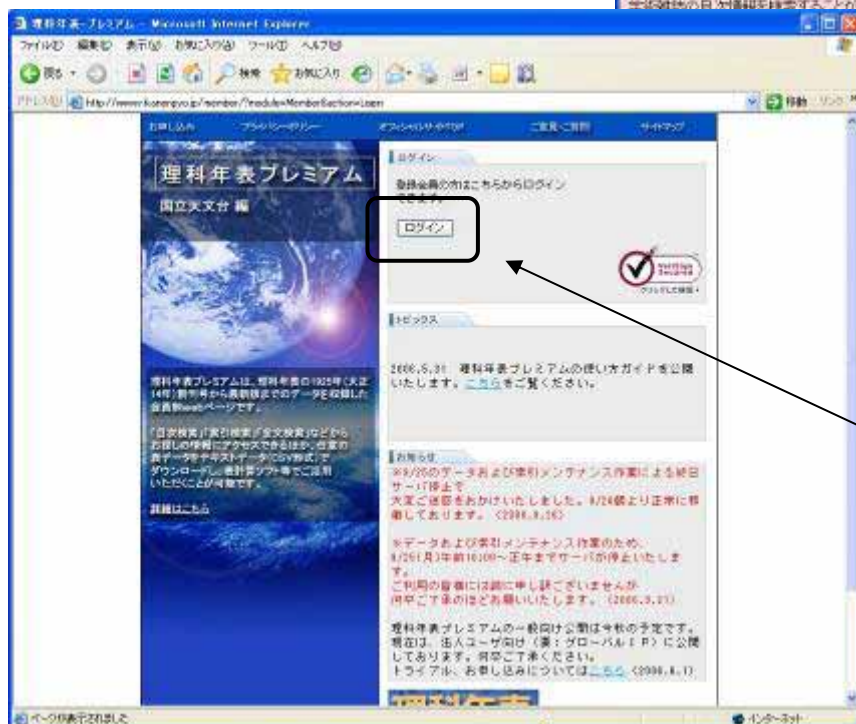
このページでは、上記の問題を解いていながら、理科年表プレミアムでの全文検索の方法をご説明します。



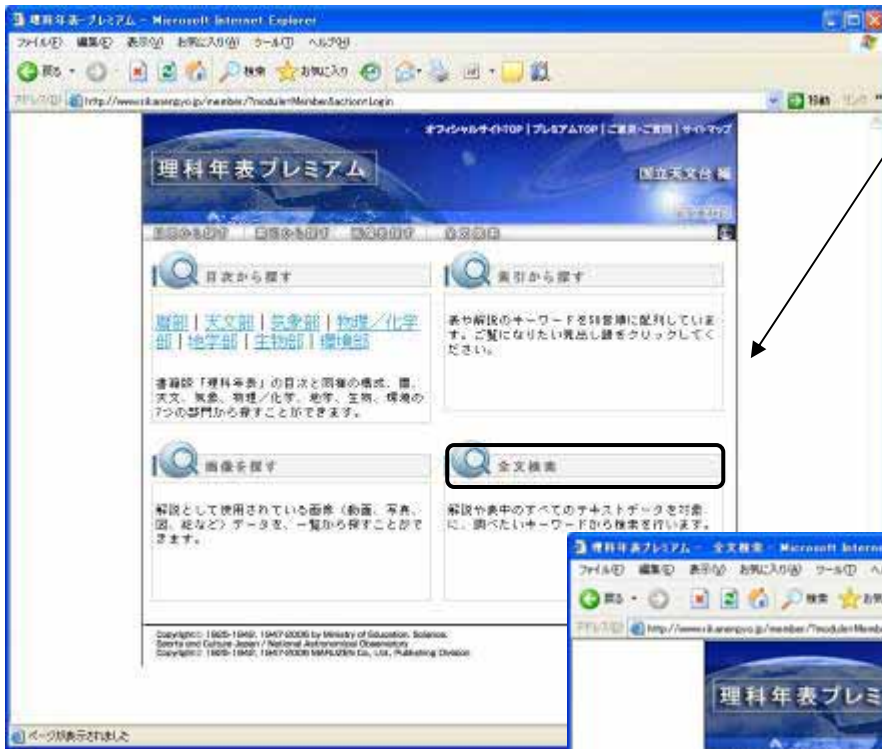
- ① 岡山理科大学図書館ホームページ (URL = <http://www.lib.ous.ac.jp>) を開く。

- ② 理科年表プレミアムをクリックする。

- ③ 理科年表プレミアムの行の「Go」をクリックする。



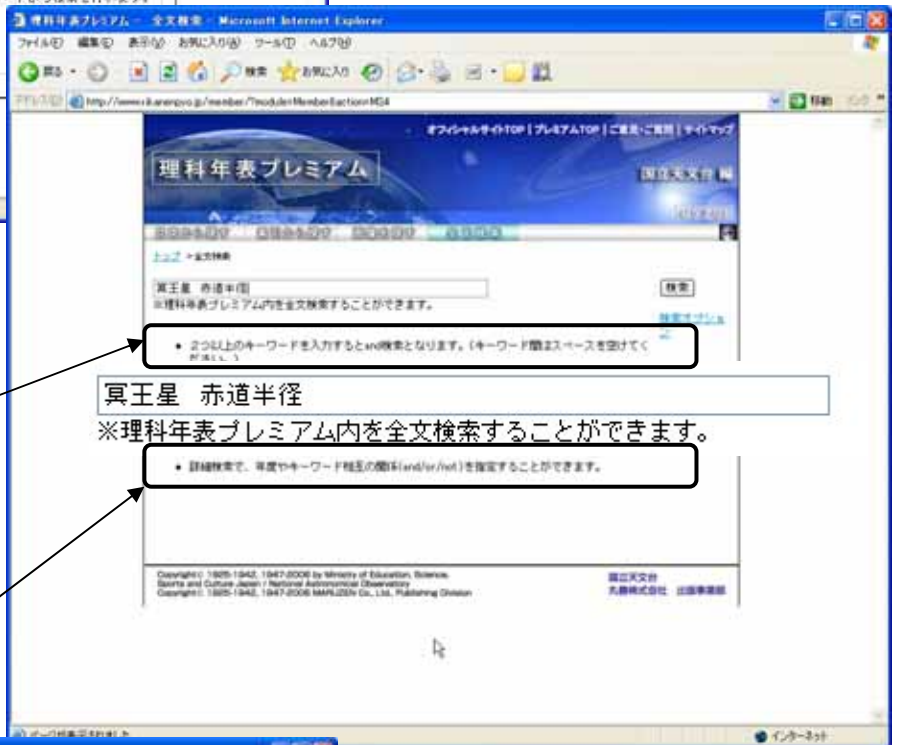
- ④ ログインのボタンをクリックする。



⑤ 冥王星の赤道半径について調べると、調査項目が決まっている場合は、全文検索を使う。  
全文検索の文字をクリックする。

⑥ 冥王星の赤道半径について調べるので、キーワードは「冥王星」と「赤道半径」である。この2つのキーワードが両方入ったものを検索したいので (AND 検索)、間に空白を入れた形で、「冥王星 (空白) 赤道半径」と検索窓に入力する。

もし、0件となったら、検索オプションで年度を「2006年」に指定すること。



⑦ 検索結果が表示される。  
今回は、

**目次名**

[天文部:太陽、惑星および月定数表:2006](#)

だけが表示されるので、目次名の青字をクリックする。





⑧ ⑦で選択した表が表示される。  
この表で、2006年版に記載されている冥王星の赤道半径は、「1195 (km)」と分かる。

	太陽より受ける輻射量	視半径	赤道半径	扁率	形の力学係数
	地球=1	地球より平均最近距離にて	km		
					J <sub>2</sub>
太陽	--	15 59.64	696000	0	0
水星	6.67	5.49	2440	0	0
金星	1.91	30.16	6052	0	$0.027 \times 10^{-3}$
地球	1.00	--	6378	0.0034	$1.083 \times 10^{-3}$
火星	0.43	8.94	3396	0.0059	$1.964 \times 10^{-3}$
木星	0.037	23.46	71492	0.0649	$14.75 \times 10^{-3}$
土星	0.011	9.71	60268	0.0980	$16.45 \times 10^{-3}$
天王星	0.0027	1.93	25559	0.0229	$3.52 \times 10^{-3}$
海王星	0.0011	1.17	24764	0.0171	$3.54 \times 10^{-3}$
冥王星	0.0006	0.04	1195	0	?
月	1.00	15 32.58	1738	3軸不等	$0.202 \times 10^{-3}$



⑨ ⑧の表は、2006年度だったので、他の年度版を見る場合は、左の年度選択にあるプルダウンメニューより、調べる年度を表示させる。



⑩ 調査が終わったら、のボタンをクリックする。

■ ログアウトしてもよろしいでしょうか？

⑪ 「はい」をクリックして終了する。

A. 近頃、冥王星が惑星かどうかという論争になった要因の一つに、観測技術の発展により、冥王星の大きさが発見当時予想されていたものよりも、かなり小さいことが分かったことがあげられますが、冥王星の大きさのデータはどのように変化していったのでしょうか。調べてみましょう。

(単位: km)

理科年表の年	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2006年
赤道半径 (冥王星)	7 2 0 0	3 2 0 0	2 0 0 0 >	1 1 4 2	1 1 3 7	1 1 9 5
赤道半径 (地球)	6 3 7 8	6 3 7 8	6 3 7 8	6 3 7 8	6 3 7 8	6 3 7 8